

令和3年12月1日

患者様各位

釧路三慈会病院
理事長 西池 淳

患者様送迎バスの廃止について

平素は、釧路三慈会病院をご利用頂き厚く御礼申し上げます。

さて、当院では、受診のため遠方から来院される患者様の利便の確保を目的として、平成21年4月から、道東地区の各市町村との4区間において「患者様送迎バス」を運行しております。

お陰様をもちまして、これまで多くの患者様にご利用いただいておりますが、公共交通機関(根室交通・くしろバス・阿寒バス)3社から『釧路根室線』、『釧路羅臼線』、『釧路標津線』路線存続のため、別紙の通り、以前より協力要請を受けて議論を重ねて参りました。

地域に根ざすバス事業者様と同じく、地域医療を担う当院としても、高齢化社会が加速する地方にとって乗車目的に関係なく誰もが利用可能な公共交通機関である「路線バス」は、将来に渡ってなくてはならない存在であると考えており、患者様送迎バスの運行が「路線バス」に対して少しでも影響を及ぼすことは本望ではなく「廃止」せざるを得ないとの結論に至りました。

それに伴いまして、「路線バス」が運行していない弟子屈発・小清水発の患者様送迎バスにつきましても患者様の公平性を期すため、苦渋の決断ではありますが「廃止」とさせていただきます。これまで患者様送迎バスをご利用いただいている患者様には大変ご不便をおかけすることとなり誠に申し訳ございませんが、ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

記

廃止日 令和4年1月31日(月曜日)限り

※令和4年2月1日(火曜日)以降の来院につきましては、既存の路線バス(別紙参照)等の公共交通機関をご利用下さいますよう、よろしくお願いたします。

患者各位 様

路線バス利用のご案内について

平素は、路線バスをご利用頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、私どもが運行している路線バスは、人口減及び移動手段の多様化等により年々利用者が減少しており、路線によっては、持続的な維持・確保が極めて厳しい状況にあります。

特に、患者送迎バスと経路が重なる『釧路根室線』『釧路羅臼線』『釧路標津線』については国、道、関係市町からの補助金を受け運行しておりますが、令和2年度、令和3年度については、コロナ禍の影響を強く受け、国の補助基準を下回るという危機的な状況でありました（※コロナ禍の影響を踏まえた国の補助基準の「緩和措置」が適用され、現時点では運行に支障は出ていません）。

また、コロナ禍以前も国の補助基準をギリギリでクリアするという状況があり、このままでは持続的に上記路線を維持・確保することが困難になる恐れがあったことから、かねてより釧路三慈会病院様には、患者送迎バスと大部分が競合する『釧路根室線』の輸送実績やその改善策、そして私どもが考える患者送迎バスの影響等についてお話し申し上げておりました。

このたび釧路三慈会病院様が、路線バスの維持・確保という地域課題についてもご賢察いただいた上で患者送迎バスの「廃止」というご判断をされたことについては、心から敬意を表するとともに、地域公共交通の維持・確保については、バス事業者だけでなく、地域（住民）と地方自治体が一体となって取り組んでいかなければならない課題であるということを改めて認識した次第です。私どもとしては、このたびの経緯を踏まえ、今後も地域に根ざした公共交通機関として営業して参りたいと存じます。

つきましては、完全な形の代替手段と言えませんが、今後患者様の通院にご利用いただける当社の既存バス路線につきまして下記のとおりご案内申し上げます。特に『釧路羅臼線』（全便）及び『釧路標津線』（標津発便のみ）については、このたび経路を変更し、釧路三慈会病院様を新たに経由することとしましたので、是非ともご利用下さいますよう、どうぞよろしく願いいたします。

以 上

令和3年12月1日

根室交通株式会社

代表取締役 岡野 将光

くしろバス株式会社

代表取締役社長 深谷 晋也

阿寒バス株式会社

代表取締役 香川 眞廣